

子どもの声は未来の声。
本を通じて子どもたちの豊かな未来へと
つながる道は？



ゲスト 平田 オリサさん
劇作家・演出家

©T.Aoki

2019年

7/14
SUN



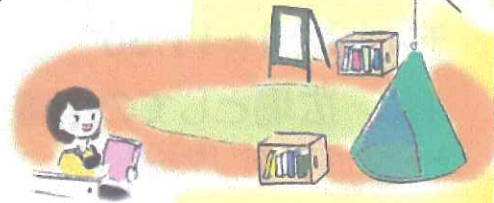
午前 10:30 ~ 12:30
(開場: 午前 10:00)

みんなの森 ぎふメディアコスモス
みんなのホール

ユーモアと身振り手振り、
豊かな対話あふれる図書館をめざして

割り続けるために

新たな知の広場を



1部 午前 10:30~11:30
「広場としての図書館」
トーク: 平田 オリサさん

2部 午前 11:30~12:30
「図書館という文化装置をめぐる」
トーク: 平田 オリサさん
聞き手: 吉成 信夫
(岐阜市立図書館 館長)

図書館という器が社会へとひろがれてくために、
私たちが始められること、つなぎ合えること、
共有できることを、平田オリサさんと
語り合います。



定員 | 200名 (要申込・先着順)
参加 | 無料
申込み | 6月20日 (木) より、中央図書館カウンター
または電話、E-mail にて受付
主催 | 岐阜市立図書館 岐阜市司町 40-5
(みんなの森 ぎふメディアコスモス)
☎ 058-262-2924
✉ moushikomi@gifu-lib.jp



聞き手 吉成 信夫
岐阜市立図書館 館長



ゲスト 劇作家、演出家

平田 オリサさん



1962年東京生まれ。劇作家、演出家。城崎国際アートセンター芸術監督、こまばアゴラ劇場芸術総監督。劇団「青年団」主宰。大阪大学特任教授、東京藝術大学特任教授、四国学院大学客員教授。2021年開学予定の兵庫県立国際観光芸術専門職大学(仮称・構想中)学長に就任予定。1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞、2019年『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞を受賞。2011年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。2002年以降、国語教科書に採用されたワークショップの方法論に基づき、多くの子どもたちが教室で演劇を創作している。近著に『下り坂をそろそろと下る』『わかりあえないことから』(ともに講談社新書)など。

プログラム

午前 10:30~11:30

1部 広場としての図書館

トーク: 平田 オリサさん

午前 11:30~12:30

2部 図書館という文化装置をめぐって

トーク: 平田 オリサさん

聞き手: 吉成 信夫 (岐阜市立図書館 館長)

—ユーモアと身振り手振り、
豊かな対話あふれる図書館をめざして—

新たな 知の広場を 創り続けるために

中央図書館開館4周年記念トーク



アクセス

- JR 岐阜駅または名鉄岐阜駅より徒歩で約 25 分
- JR 岐阜駅または名鉄岐阜駅からバスで約 15 分
「メディアコスモス前」「市民会館・裁判所前」バス停下車すぐ
「メディアコスモス・鶯谷高校口」バス停より徒歩 3 分
- 有料駐車場 / 約 300 台 (30 分 / 100 円)
入車後 2 時間まで無料 (要手続き)
- 無料駐輪場 有り

岐阜市立中央図書館 (みんなの森 ぎふメディアコスモス 内)
住所 / 岐阜市司町 40-5 TEL / 058-262-2924

キリトリ

中央図書館 開館4周年記念 トーク「新たな知の広場を創り続けるために」 申込書

ふりがな
氏名

電話番号